

モニタリングサイト 1000 里地調査 生物多様性指標レポート 2019 正誤表

ページ	段落、図表番号	誤	正
24	本文 2 段落目	また、分布北限が南にある種ほど、1年あたりの個体数増加率が高くなる傾向が見られた(分布北限が東北南部である <u>3種</u> : +1.5%/年、+1.6%/年、+3.0%/年、関東・中部である <u>4種</u> : +2.2%/年、+3.0%/年、+8.3%/年、+14.8%/年、近畿・紀伊である1種: +30.6%/年;図 3-23)。	また、分布北限が南にある種ほど、1年あたりの個体数増加率が高くなる傾向が見られた(分布北限が東北南部である <u>2種</u> : +1.8%/年、+2.0%/年、関東・中部である <u>3種</u> : +2.9%/年、+8.9%/年、+13.9%/年、近畿・紀伊である1種: +27.1%/年;図 3-23)。
25	図 3-23	別紙 図 3-23 南方系チョウ類 6 種及びイシガケチョウ、ムラサキツバメの記録個体数の経年的な全国傾向【誤】 	同【正】 (個体数変化率の数値、回帰係数の数値、種名の表記の順序などを修正した)
41	付表 1	別紙 付表 1. 鳥類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度【誤】	同【正】 (出現地点の割合の経年変化の数値、出現頻度の数値、種名の表記の順序などを修正した)
42	付表 1	別紙 付表 1. 鳥類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度(その2)【誤】	同【正】 (出現地点の割合の経年変化の数値、出現頻度の数値、種名の表記の順序などを修正した)
43	付表 1	別紙 付表 1. 鳥類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度(その3)【誤】	同【正】 (出現地点の割合の経年変化の数値、出現頻度の数値、種名の表記の順序などを修正し

ページ	段落、図表番号	誤	正
			た)
44	付表 2	別紙 付表 2. チョウ類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度【誤】	同【正】 (個体数変化率の数値、出現地点の割合の経年変化の数値、出現頻度の数値、種名の表記の順序などを修正した)
45	付表 2	別紙 付表 2. チョウ類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度(その2)【誤】	同【正】 (個体数変化率の数値、出現地点の割合の経年変化の数値、出現頻度の数値、種名の表記の順序などを修正した)
46	付表 2		別紙 付表 2. チョウ類の種ごとの個体数変化率・出現地点の割合の経年変化・出現頻度(その3) (追加)

以上